

# 「やさしい日本語の普及による情報提供等の促進の在り方」 報告書(令和4年3月)概要

- ・文化庁とともに「やさしい日本語の普及による情報提供等の促進に関する検討会議」を設置し、実際に外国人に接する機会の多い実務経験の豊富な委員により、現場に近い目線でやさしい日本語の普及を一層促進するための効果的な取組について検討。
- ・本報告書は、各委員が現場で実際にやさしい日本語の普及に取り組む中で得られた経験等に基づき、やさしい日本語の普及にあたりどのような課題があり、その課題を踏まえて普及推進のためにどのような取組が必要と考えられるかについて取りまとめたもの。

➡ 次年度以降、報告書の内容を踏まえて、やさしい日本語の普及のための施策を順次実施

## 現状（実施内容）

### 行政機関（国・自治体）

- ・ガイドラインの作成・公表
- ・場面別の会話集・言い換え用語集等の作成・公表
- ・外国人の日本語学習教材の作成・公表
- ・地方公共団体による住民研修の実施

- ・職員研修
- ・国による地方公共団体職員の研修

### 地域社会

- ・地方公共団体の住民研修による普及
- ・地方公共団体の商店街との連携による普及推進

### 民間企業・市民団体等

- ・研修教材・自己学習教材の開発・提供
- ・社員研修の実施

## 課題

### やさしい日本語への理解不足・認識不足

- ・国民に対するやさしい日本語の認知度が低い（特に20代以下で低い）
- ・外国人との接し方
- ・やさしい日本語を活用する必要性・有効性

- ・研修機会の不足
- ・研修ツールの不足
- ・講師人材の不足

### 外国人にどのように接すればよいのかについての認識不足

- ・外国人と会ったら英語で話さないといけなく考える傾向
- ・外国人と接する機会が少ない地方においてやさしい日本語の必要性が十分に認識されていない

## 取組の方向性

### やさしい日本語の必要性・有効性についての理解を促進

- ・やさしい日本語は難しいというイメージをなくす
- ・次のような内容を周知
  - やさしい日本語のメリット
  - 書き言葉・話し言葉の違い
  - やさしい日本語の長所と限界

### やさしい日本語を身に付ける機会の確保

- ・研修対象者の拡大
- ・効果的な手法の検討

### 日本人住民もやさしい日本語など意思疎通の方法を学ぶ必要があることを周知及び活用促進

## 普及のために行政が行う取組

- ・在留支援のためのやさしい日本語ガイドラインのさらなる周知
- ・話し言葉のやさしい日本語の留意事項の取りまとめ
- ・やさしい日本語の関心を高めるための取組

- ・研修用教材の作成
- ・やさしい日本語の講師派遣
- ・様々な場面を集めた会話例の作成
- ・やさしい日本語活用の補助ツール

### 地域社会や民間団体等へ波及させるための取組

- ・地域社会への普及の取組を進めている地方公共団体や、民間企業における取組事例・活用例を把握
  - ➔ 好事例として他の地方公共団体や民間企業にフィードバック
- ・中長期的な普及のための体制の整備
  - ➔ 関係省庁や地方公共団体が協力した複数のチャンネルによる普及の取組